

たより from おんがた

発行人

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
 恩方育成園 施設長 久保田 美幸
 〒192-0154 八王子市下恩方町 2794-1
 Tel.042(652)3825 Fax 042(652)3826



新年度のスタートに当たって「願いを実現する」施設づくり

2020年の新年度を迎え、当園にも新たな職員が9名配属されて、「さあ～出発だ！」と勢いよくスタートしたいところではありますが、新型コロナウイルス感染症対策に伴う自粛のため、様々な行事やイベントが延期または中止となっています。春を迎え、桜が咲き誇り桜吹雪が舞い、春の花が咲き花の周りに蝶が舞い、山肌をすり抜けるさわやかな風と新緑に向う緑豊かな山々に囲まれた当園(恩方)の自然を見ながら、私たちが今直面している現実とのギャップにやり切れない気持ちが込み上げてきます。その中において、必死に命を支えている医療従事者や生活を支えるために働くエッセンシャルワーカーの方々に深く感謝し、同朋である福祉従事者にエールを送ります。

昨年の秋、一つの書籍との運命的な出会いがありました。そのタイトルは、「彼らの願いを原点に～もう施設はいらない～」、著者：春山廣輝(当時全日本手をつなぐ育成会理事長、東京都手をつなぐ育成会元理事長)、編集：全日本手をつなぐ育成会とあり、20余年前の1997年に発行された書籍です。私はこのタイトルに導かれるように購入し、読み進めていくと現在の障害福祉に至る背景や取り組みが綴られ、障害福祉に関する未来へのビジョン描かれていました。私には、単なる理想論ではなく現実のものとして、実現するか否かを突き動かされるような衝撃と共感を受け、「気づいた者がやらなければならない。」そう著者から語られているように感じられました。この書籍の中で、春山廣輝氏が全日本手をつなぐ育成会主催のセミナーにおいて、「彼ら(当事者)が一番望むこと、それは何と言っても、地域の中で生きたいということです。施設の中でいつまでも生き続け、施設の中で自分の生涯を終わるのではなく、地域で生きたいという思いが強いということ、私は知らされたという気がいたします。」と語られ、肯定も否定もある中で、糸賀一雄氏が、“この子らを

世の光に”と「共生社会の実現」「人格発達の権利の保障」を訴えてこられた障害福祉の思想を継承し、覚悟をもって具現化してきたのが、正しく「全日本手をつなぐ育成会」であったことに私は共感し、意味深いものを感じました。

50余年前に、糸賀一雄氏が訴えてきた思想を四半世紀後に春山廣輝氏が「彼らの願いを原点に」との本人主体の実践と障害福祉の未来ビジョンの構想を訴え、時の流れ中で障害福祉の思想が受け継がれ、昨今、津久井やまゆり園殺傷事件を境に、障害がある人たちの存在について、彼女らが「私たちは、障害者である前にひとりの人間である。」とこれまで以上に訴えています。しかしながら、「入所施設幸福論」は大きな壁となっています。彼ら彼女らは障害とともにこの世に生を受け誕生することを望んだわけでもなく、ましてや親も望んだわけではない。しかしながら、現実には障害がある人が目の前に存在しています。私の知るとある社会福祉法人の理事長は、彼ら彼女らの存在は私たち人類にとって切り離すことのできない存在であると人類史などを通して語られていました。私たちは、彼ら彼女らが存在する意義(価値)を地域(世の中)に伝え、共生を推進するための存在です。

当園は、昨年20周年を迎え、本年度より新たな10年の第3章を歩むために、当園のサブミッションを「私たちは、一人ひとりに在る力を活かし、本人らしい人生を実現します。」と改定し、「願いを実現する」を中長期計画のビジョンとして、地域生活支援型入所施設の実現に向けて取り組んでいきます。皆様からのご指導ご鞭撻を賜りますよう、今後ともよろしくお願い致します。

施設長 久保田 美幸

現在流行中の「コロナ」はニュースや新聞で多く報道されています。中には施設内で流行し施設全体が感染したと報道されている施設もあります。そこで、恩方育成園での感染対策をご紹介します！

園

定期的に窓を開け換気をしています！



宅配や来園の方の対応は玄関で行っています。



外出はせず、園内でイベントを行ったりして過ごしています。



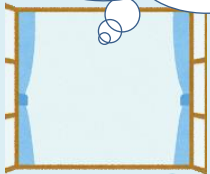
手すりなどの消毒も行っています。



熱が出た場合は症状によって居室隔離や園内の別の場所での対応を行います。職員が熱を出した場合はフロア内でのみの生活になります。

換気中の窓を気にする方
(事前に閉める時間を伝えます)

大変な事



手を舐める



利用者



食事前などは手の消毒をします！

職員

出勤前と退勤前に熱を測っています。



マスクが出来る方にはマスクをしてもらっています。



利用者さんと職員の食事は別の場所に行っています。
(隣で食べない)

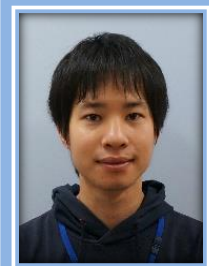
マスクの着用！



恩方育成園の感染対策はいかがでしょうか？この他にも家族で発熱が出た場合はお休みにしたり、職員の検温表を時折確認したり、感染マニュアルを職員に周知し、感染の疑いなどが出た場合の対応もマニュアル化されています。利用者さんの中には消毒液をかけるとすぐに舐めてしまう方や、障害特性上、換気中の窓に拘ってしまう方やマスクの着用が難しい方なども居るので、利用者さんの安全と障害特性に配慮しながら、園全体で一丸となって利用者さんを「コロナ」から守っています！

新任職員紹介

のぞみ班



前田 弘樹

世田谷区の給田福祉園から異動してきました。入所施設は初めての経験になりますが、頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します！



吉良 誠也

利用者様が楽しく生活してもらえるように、利用者様に寄り添い、日々を学び、たくさん経験を積んでいき支援員として成長出来るように励んでいきますのでよろしくお願い致します。

はやて班



谷澤 晴之

4月より、江東区通勤寮より異動となりました。これまでの恩方育成園の取り組みを理解し、これからの利用者の方一人ひとりの人生の豊かさのサポートを頑張っていきたいと思います。よろしくお願い致します。



宇佐美 秀治

利用者の皆様と支え合いながら、共に笑顔を絶やさない日々を送りたいと思っております。精進して参りますのでよろしくお願い致します。

つばさ班



清水 翔太

以前は埼玉県で教員をしておりました。人と接することや関わることに興味があり、人の役に立ちたいと強く思ってきました。全力で取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。



平崎 翔太

大学では、障害について勉強してきました。利用者の方が少しでも良い生活を送れるように考えます。共に学びながら成長していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

こまち班



馬場 麻友華

利用者のみなさんが充実した日々が送れるよう、たくさんの事を吸収し成長していきたいと思っております。精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



梅澤 志穂

日々を楽しく過ごして行きながら利用者の方々と共に様々な経験をして学び、成長し、より良い支援に繋がるよう頑張っていきたいと思っております。これからよろしくお願い致します。

ひかり班



木崎 聖捺

周りの方々に助けをいただきながら様々なことを日々学んでいます。恩方育成園で楽しみながら、一人一人に合った支援ができるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



恩方育成園の新たなミッションを機に考えた事

恩方育成園では、2020年度事業計画として法人全体で掲げている統一ミッション※とは別に、恩方育成園として新たに「私たちは、一人ひとりにある力を活かし本人らしい人生を実現します。」というミッションを掲げました。このミッションの中には、久保田園長を始めこれからの入所施設の在り方を再考し、「どんなに重い障害があっても地域で暮らす」本人らしい人生、当たり前の「普通の暮らし」を実現する施設、と言う事を目標に利用者支援に携わっていくという想いが込められています。私も支援員として、利用者に関わっていく中でいつの間にか施設での入所生活が当たり前と感じている瞬間があります。今回の、新たなミッションを機に、そもそも利用者たちは恩方育成園での生活をどう感じているのだろうと考えました。障害者基本法の中でも「全ての障害者は、可能な限り、どこで誰と生活するかについて選択の機会が確保され、地域社会において他の人々と共生する事を妨げられない事」と示されています。入所施設から地域生活への移行が推進される中、また利用者の高齢化や重症化が課題になっている中で、恩方育成園は利用者にとってどの様な場であるべきなのか。ミッションが新しくなり、「本人らしい人生を実現」と聞くと壮大で難しく聞こえてしまうかも知れませんが、利用者への支援内容が急が変わってしまう訳ではありません。これからも利用者が安心して生活できるサービスを提供しながら、一人一人の意思を汲み取る事を大切にし、その答えを一緒に探していけたらと思いました。



※東京都手をつなぐ育成会統一ミッション「私たちは、全ての人、一人一人の人権と意思を尊重し、障害のある人も無い人ともに社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送る事ができる社会の実現を目指します」

恩方育成園ではスタッフ及び
ボランティアを募集しています！
お気軽にお問合せください♪

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
障害者支援施設 恩方育成園

〒192-0154 東京都八王子市下恩方町 2794-1
TEL 042-652-3825 FAX 042-652-3826
URL <http://www.ikuseikai-tyky.or.jp/~iku-ongata/>

採用担当：根岸、本田、田代
ボランティア担当：門倉志保

編集後記

新型コロナウイルスの影響が各地で取りざたされている中、恩方育成園では利用者、職員共に健康被害が出ていない事は不幸中の幸いです。今後も引き続き感染予防に努め、この災難が去るその時をみんな一緒に笑顔で迎えたいと思っております。外部との繋がりが希薄になる日々が続きますが、だからこそ広報誌としての役割を大切にしていきたいと思います。 広報委員 佐藤